

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2005.10.25
No.909

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

憲法改悪、大增税は許さない
国民大集会に参加しよう

11月19日(土) 東京・明治公園

12:00~文化行事 13:00~国民大集会



賃金を大幅削減させるな、保障せよ！と迫る（県本部交渉団）

集中改革プラン策定を 押しつけるな！

10月14日、市町村課との交渉が県庁内で行われました。県側は石川課長補佐はじめ6人が出席し、県本部も羽根委員長以下、10人の参加で行われました。交渉の重点はやはり、05人事院勧告に関連する賃金・労働条件問題でした。冒頭に「労使自治への介入はしない」と言明した市町村課でしたが、給与見直しについて話が移ると以下のやり取りに。

地方自治の原則に立ち返り、自治体に対して「集中改革プラン」策定を押しつけるな
愛知県本部、県市町村課の姿勢を追及
冒頭、羽根委員長は、「新地方改革指針を自治体に押し付けないこと」「05人勧は50年ぶりの大改悪である。国は配分の問題だが、地方自治体は水準問題になる」とあいさつし、集中改革プラン策定の問題と05人勧の問題を中心交渉を行いました。また、労使関係については、「市町村課の立場は自治体に助言はするが、労使関係は尊重する」とし、労

使自治への介入の意図はないことを表明しました。県市町村課は、集中改革プランについて、「計画策定、公表状況を国がまとめて公表することになっていく。大阪みたいな事はあつてはならない。具体的に例示し、作成するよう求めている」

県本部「総務省の一律4・6%を上回る削減ありきは問題。このやり方は、地方分権と逆行している。地方自治体は主体性を持たせるべき」と考え方を質しました。県市町村課は、「削減率が4・6%以下もあり得る」とは思うが、団塊の世代が大勢退職する際に、同数採用は問題。保育、安全、安心など、むしろ人員を増やす部分もあるかもしれないが、その場合については、事情を聞く。公表することに、住民に説明できることが重要」と考え方を示しました。

人事院勧告の矛盾を追及
県市町村課も矛盾を認める
県市町村課は、「国は、調整8%から地域給3%に對しては、現給保障、激変緩和を行う。今回、各自治体で勝手にとはならない。国の調整手当は本給に近いものだ。現給保障とは言えないが、段階的な措置などを検討したい」

ある時はラスを使い、賃金センサスで調節したり、ブロックで分けたり、誰でも矛盾を思う。受け入れられるとは思っていない。しかし、国が実施するときに国と違って良いとはならない。住民に説明できることが必要」と見解を示しました。県本部は、「県下の自治体が今後出される県の人勧を取り入れてもよいのか」と質問すると、県市町村課は、「各自治体がそういう判断をする場合もあるとは思いますが、住民に説明できる



財務省前の要求行動で自治労連を代表して愛知県本部林書記次長が決意表明し、「自治体では市町村合併が進み、3000自治体が2000になるうとしていく。交付税を減らして公務員の人数を減らし、人金も削るうとしていく。安心して働き、

かどうか問題になるのではなか」と回答。県本部「民間でも大問題の査定昇給は、導入すべきでない。労使で協議し納得できるまで慎重に対応すべきだ」

今回の中央行動に初めて参加した蒲郡市職の寺戸孝至(右)と尾崎さん(左)が行動していることに勇気をもらいました」と雨の中元気にシュプレヒコールをしていました。

交渉では、新地方改革指針や人勧の矛盾など、ところどころに本音も出されました。こんな矛盾ある新地方改革指針や人勧の実施・導入は断固反対です。まず、どんな職場にすべきか、どんな自治体にしていくのか、労使で十分な協議が重要です。暮らし・職場破壊を許さず、安心して住民のために働き続けられる職場にするため、職場の運動を強め、地域にも出て、住民の信頼を広げる取り組みを大きく広げ、要求を前進させましょう！

雨をうけて700人が怒りの中央行動

憲法守れ、給与構造改悪阻止、地方自治守ろう

05秋年末闘争 公務労組連第2次中央行動

自治労連は10月18日、秋季年末闘争勝利にむけた総決起集会を全国から700人の組合員が参加し、東京・日比谷野外音楽堂で開催しました。総決起集会は、20日に衆議

院総務委員会で給与法、退職手当法、地方自治法の審議入りを直前に控えた中、「総人件費削減」を許さない、公務労組連絡会の第2次中央行動に連動して開催されました。

暮らせる仕事をしていきたいと力強く発言しました。全国の公務労働者の元気をもらい賃金改悪許さないたたかいへ全力

蒲郡市職・寺戸孝至さん
の人数で地域手当が導入されれば蒲郡は不支給地域で調整手当はなくなってしまう。独身の僕でも影響があるのに、家族のある人たちにすれば大打撃です。この中央行動に来て、自治体だけでなく公務の様々な分野の人たちが行動していることに勇気をもらいました」と雨の中元気にシュプレヒコールをしていました。



デモ出発前の蒲郡市職寺戸孝至(右)と尾崎さん(左)

読まれる 待たれる機関紙を作りたい

機関紙の魅力を学んで 実技にも熱が入る!!

第10回 あいち機関紙 宣伝学校

10月15日・16日、労働会館で愛労連と自治労連共催のあいち機関紙宣伝学校が開かれました。今年で10回目を迎え、2日間でのべ90余人の参加で行われました。

15日は50人近くが参加し、記念講演は自治労連大阪市労組副委員長の西岡健二さん。「元気と共感・心を動かす機関紙・教宣活動を職場地域で」と題し、オヤジギャグを連発しながら楽しく機関紙の魅力や組合活動における重要性を語りました。16日は、初心者コース・ヒラ作り・デジタルカメラ・パソコン編集の5つのコースに別れ50人あまりが参加。各講座参加者は目を輝かせて実習にとりく



「パーソナル編集長」で新聞づくり分科会も人気がありました

単組・地区協 のとりくみ

「尾東のなかま」 賃金確定で 未組織へ要請

尾東地区協議会は10月12日、尾東地区の自治体すべてが賃金確定にあたって足並みをそろえることができ

るよう要請を行いました。要請にあたって、尾張旭市、東郷町職員に「尾東のなかま」(尾東地区協未組織むけニュース)を配布。要請を行うことを知らせ55人勸

当選者の 職場の声

905号の答えは「ホウズキイチ」でした。26名の応募があり全員正解でした。

尾東地区協議会は10月12日、尾東地区の自治体すべてが賃金確定にあたって足並みをそろえることができ

ツボの話 疲れ目に効くツボ

鍼灸師 伊藤直子

11月7日は立冬。陽光が一段と弱まり、日脚も短くなります。冷たい風が身にしみるようになるころで、風邪に要注意の季節です。厚着するだけでなく、体をよく動かすこと、夜更かしをしない

た症状に悩む人も多くなっています。目の充血の原因は目の酷使です。うつ血をとって目をすっきりさせましょう。左右のこめかみにある目のツボ「太陽(たいよう)」「へ」の刺激が疲れ目や視力の低下を回復させてくれます。「太陽」への刺激は両手の中指で、気持ちがいいと感じる強さで押してください。

たいよう 太陽
こめかみにあるツボ



さんちく 攢竹
まゆ頭にあるツボ

目がチカチカする時は、目の「攢竹(さんちく)」への指圧をしてください。左右のまゆ頭にありますので、中指で軽く押してください。目ははれや顔のむくみに、ま

きてほしい。要請内容は理解しているので、住民が納得する方を教えてほしい組合に期待している」と話しました。尾張旭市では、05年実施分については「11月に議案上程する」としたため、不利益の遡及で有り提案すべきでないことを強く訴えました。尾東地区協会は17日、18日の両日、東郷町職員、尾張旭市職員の賃金学習を開催する呼びかけも行いました。

以下の方に図書券を贈ります。

長谷 芳枝(西尾市職) 名倉美子() 青木 初代(名古屋市職) 長島 純子() 藤本 美香(瀬戸市職) 鈴木 貴子() 吉本小枝(春日井市職) 小川 恭子() 高井 初代(田原市職) 早瀬 牧子(学事) 先日の選挙結果は悲惨でした。まさに独裁政治の始まりです。民意の反映されない小選挙区制が問題です(重藤新子・学事) クイズから夏まつりを思い出しました。日本どまんかまつりで、柳原商店街に2年前行きましたが皆さんあたたかい人たちがばかりで楽しかったことを思い出しました(小林幸知・春日井市職) 夫の過労死を労災として認定させるために立ち上がった倉田さんが、定期大会に来て、女性だけ保育士()の組合をはじめてみ

おたのしみプレゼントつき クイズ

左のクロスワードをとき、解答および名前・単組名・職場をはがきに書いて下さい。

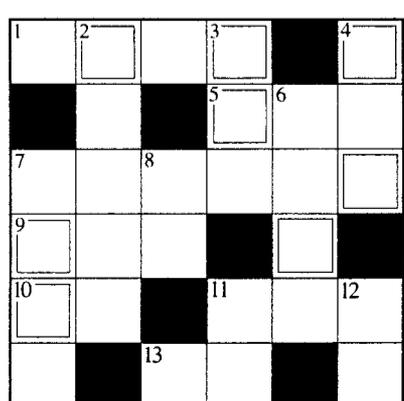
カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何? 【タテのキー】②横着して休むこと ③校旗を掲げ斉唱した ④〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇楚歌 ⑥料理の代表はピフテキ ⑦表と裏。――一体 ⑧〇と罰 ⑩〇〇とギリ ⑪人生山あり

【ヨコのキー】①ニシ! ⑩♪〇〇は広い大きな卵 ⑤臉を少しあいな ⑪出羽山地が南けた目 ⑦デパートの北に貫く――県 ⑬〇〇の深い顔 ⑨四方のすみ

て左記まで送ってください。抽選で10名の方に図書券を贈呈します。

〒462-0845
名古屋北区柳原三丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部行。締め切りは11月30日必着。はがきにならず近況・職場での話題、今号の「あいちの仲間」の感想等を書いて下さい。



クロスワード パズル

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 会 計 荒井 修 | 瀨戸市職(10月11日) | 執行委員長 下山 泰彦 |
| 中水 芳 (9月29日) | 執行委員長 高津 桂一 | 副執行委員長 加藤 徹 |
| 執行委員長 小林 康夫 | 副執行委員長 近藤 隆儀 | 書記 白井 淳 |
| 副執行委員長 加藤 重元 | 書記 澤井 香 | 書記 加藤 重元 |
| 執行委員長 中村やよい | 書記 遠藤 勇 | 書記 加藤 重元 |
| 副執行委員長 中野みさ子 | 書記 尾崎 宰子 | 書記 中野みさ子 |
| 執行委員長 岡田みつ子 | 副執行委員長 尾崎 宰子 | 書記 岡田みつ子 |
| 副執行委員長 森野さくら | 書記 藤城 直司 | 書記 森野さくら |
| 執行委員長 栗原めぐみ | 書記 今泉 聖一 | 書記 栗原めぐみ |
| 書記 鬼頭 研次 | | 書記 鬼頭 研次 |